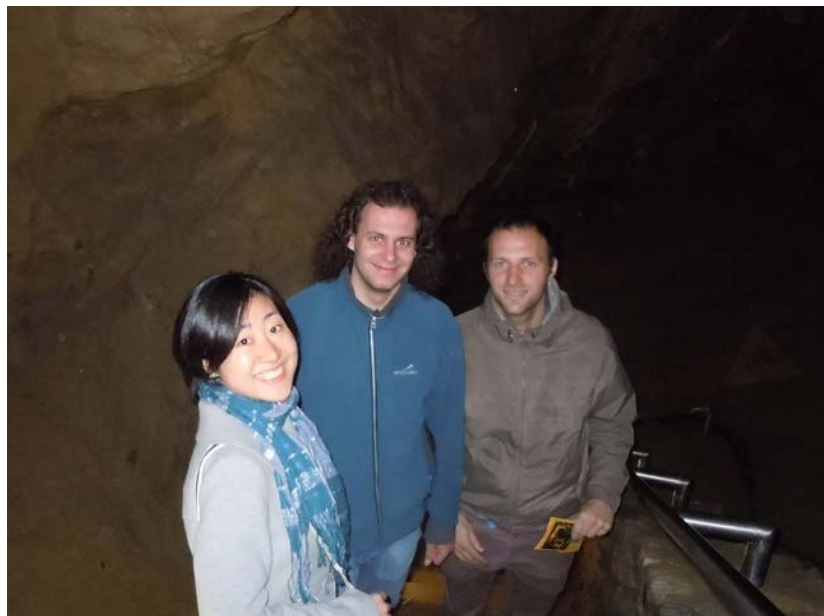


チェコでの短期滞在を終えて

化学専攻 博士課程2年 大越研究室 吉清まりえ

2014年3月26日から4月12日の期間で、チェコ共和国のパラツキー大学に招聘され、EUプロジェクトのメンバーの一員として二週間半の間 Radek Zboril 教授の研究グループのもとで過ごした。Zboril 教授らは、鉄系材料の研究を行っており、特にメスバウアー分光法を用いた研究を長年進めてきた。大越研究室で見出した酸化鉄の希少相に関しては以前から共同研究を行っており、今回の滞在では、その延長線上のテーマについて、現場で一緒にデータを眺めながらディスカッションを重ねることができた。メールのやりとりではなかなかできないような深い議論をすることができ、仕事が大きく前に進んだように思う。また、このような交流を通じて、パラツキー大学のスタッフや学生の研究に対する積極的な姿勢や努力、そして勢いを強く感じ、大いに刺激を受けた。今後このような貴重な関係が続けられるように、双方のグループの特技を融合させながら共同研究の仕事をしっかりと実らせていきたいと感じた。



パラツキー大学の博士課程学生と週末に訪れた Punkva 洞窟にて